

# SLA通信

第19号

〒460-0024 名古屋市中区正木 1-2-8  
(財) シニアルネサンス財団内  
TEL 052 332 7883

## 「ご存じですか?? ……福祉オンブズマン……」

中部SLA協会 会長 田中 芳雄

紆余曲折の介護保険が、いよいよ来年4月よりスタートする事は、既に皆様もご存じのことでしょう。スタート直後より、無理解、不信、対応の不慣れ、その他あらゆる問題点が一度に吹き出ることが予想されます。

地方行政は、問題を想定したシミュレーションをやって迅速な対応ができるよう努力はしているものの、最終的には、問題が出てきた時点で、解決方法を模索しようといういささか開き直りの感じがしないでもありません。対応が地域によりまちまちであり、問題解決への対策方法が示されていないのが現状です。だからといってこのままでいいのでしょうか?

現実に介護をうけている人や、介護に携わっている人は真剣ですが、それ以外の方は、当面は自分でないため先送りしていないのでしょうか? 将来介護されるかもしれない立場に立つことを考えれば他人事ではありません。

介護保険は、戦後50有余年の歴史のなかで、高齢化社会の到来により生まれたことは、当然の方向とおもわれます。

さる7月10日、「愛知福祉オンブズマン」と「愛知・名古屋ふくしネットワーク」という団体により【介護保険と利用者の権利擁護・福祉オンブズマンの役割】と題し、シンポジウムが開催されました。各団体としての設立主旨、活動の方法、現在までの経過、今後の方向性等がパネルディスカッションで進められ、それを聞く機会がありました。

福祉オンブズマンは、介護保険を運営する側と、利用者側が本当に平等な立場で、福祉サービスを受けられるかどうかを監視するために設けられるものである。知識不足によるトラブルを回避する必要性が生じてくることもあり、非常に重要な任務を課せられています。

私たちは、福祉オンブズマンの活動に大きな関心を寄せ注目していきたいものです。と同時に、SLAの活動の方向として重要な意味を含んでいると思います。SLA会員も、各地域でそれぞれに福祉、介護に携わっておられる方も多いと思いますが、狭い地域内での視点で見えていないでしょうか?

多地域から参加している会員の背景を考えたとき、会員の持ち寄る情報で、今後ボランティア活動の大きな発展へ寄与する事が可能ではないでしょうか?

SLA協会が開催する研修会、その他の行事に積極的に参加する中で会員同志の情報交換や、それを一歩進めた、目的意識に目覚めたプロジェクトの設立を目指そうではありませんか。

# 中部SLA協会「創立記念日」行事

日 時 平成 11 年 10 月 1 日 (金) (13:30-16:30)  
場 所 伏見ライフプラザ 12F (第1研修室) 参加費 300円  
第 1 部 13:30~15:30

講 演 「保険と財産運用について」  
講 師 住友海上火災(東京本社) 長期保険部年金介護チーム課長  
住岡 伸一氏  
住友海上ゆうゆう生命保険 中部支店課長  
尾崎 友彦氏

(日本ファイナンシャル・プランナーズ協会認定 A.F.P.)

第 2 部 15:40~16:10

歌唱指導 「Back Future to the Young Day」 ・ ・ 若き日の思い出 ・ ・  
リーダー 3期生 鈴木 正司氏  
出席連絡先 総務部 大歳 篁子 Tel & Fax 052-877-5457

◇当日でも出席可能ですから、会員同志お誘い合わせの上是非ご参加ください。

## 幹事会からの実施報告

◇名古屋市の一人暮らし電話相談 (8月27日・伏見ライフプラザ12F・出席者21名)

講師 名古屋婦人慈愛会 名倉 之代氏他2名

一人暮らしの電話相談は、「名古屋婦人慈愛会」が名古屋市社会福祉協議会より委嘱され、昭和47年から運営し、市を17地区に分け週2回、半日のボランティア活動をしている。対象は「ひとり暮らし」の低所得層で、名古屋市が申込者に電話を貸与設置し、安否の確認が主目的である。

◇成年後見人制度について

2期生青井久子さんの講師で、今後は重要なテーマとなるが現段階は法改正が予定されており、SLAとしても勉強して行きたい分野である。

・ ・ 感想 ・ ・ 「一人暮らしの電話相談における現状」「成年後見人制度」を聞いて (後藤 都代)

名古屋婦人慈愛会は、昭和47年に女性の市会議員の発案で活動を開始し、その遺志を継いで現在も続いている。週2回応答時の声の調子で元気かどうかを確認し、心配なときは民生委員と連絡を取り合って横の連携も密にしているとの事である。代表の方が81歳の高齢にも関わらず、毅然とした態度と限りない愛情で電話相談され、ひとり暮らしの方を支えていることを知り、ボランティアの原点を強く感じた。

「成年後見人制度」については、SLA会員が行政の先行きをしっかりと見守って勉強していかなければならないと強く感じた。

## インターネット体験勉強会

日 時 10月28日(木) AM 10:00~12:00  
場 所 NHK名古屋放送センタービル 8F  
人 数 10名(パソコン知識不要、マウス操作指導します)  
費 用 無料  
申込み 10月25日迄 (田中 Tel・Fax 0586-62-8178)

## 研修部会だより

### 活動報告

7月24日(土)

場所 伏見ライフプラザ 12F ボランティア情報センター集会室

時間 13:30~15:30

テーマ 「人間関係を豊かにする会話法」

講師 元東海ラジオ アナウンサー 谷口佳世子先生 トークルーム KAYOKO 主宰

出席者 24名

身近で使用する基本的な言葉づかいについて話をきり出された。

- ① 明るい抑揚のある言葉づかいをする。
- ② 言葉づかいは技術でなく心の通い合うことが大切。

続いて電話の対応についての心構えと電話を受けるときのポイントについて話された。

例えば、ベルが数回鳴って受話器を取るとき“おまたせしました”はビジネスでは三回、プライベートでは五、六回で言うなど、人としての交流が深まる話し方を大事にする。

最近ある“どうも・でした”では心許無い。(大森 政文)

9月10日(金)

場所 愛知たいようの杜(特殊養護老人ホーム・ショートステイ・在宅介護支援センター・ホームヘルパーステーション・デイサービスセンター)の見学。

出席者 15名

施設側より、概要、ケアハウスの話、及び成り立ちについて説明あり。

当ホームのほか、デイサービスセンター、長久手町在宅介護支援センター、長久手ホームヘルパーステーションなどがある。当ホームには、入所者80名(町民42名他38名・待機者90人程)の他、ショートステイ、デイサービス等がある。

地下一階に、デイサービス施設バー・一階に玄関、事務所、ショートステイの為の個室、四人部屋、食堂、二階に四人部屋、喫茶室、会議室などある。一階と二階は中庭を中心に取り囲むように部屋が設計してある。(永坂 真弓)

### ・・出席者の感想から・・

「人間関係を豊かにする会話法」をきいて (斎藤 立子)

‘言葉ひとつ’というのと、いかにも簡単なように聞こえますが、一朝一夕で良い言葉使いというのはなかなかできません。そこで、人間関係を豊かにする話し方、言葉こそがあなたの人格そのものですと提唱される、元東海ラジオアナウンサー、現在話し方教室を主宰されている谷口佳世子講師から、学習の機会を得ました。

先生は、終始一貫暖かみのある話し方で、無意識に言葉を発している、良くない話し方を指摘され、思いやりのある話し方について指導していただきました。例えば電話にでる際、「ハイ、〇〇です。」というハイという一呼吸は、早速私も実践してみる事にしました。

言葉というのは、コミュニケーションの大事な手段です。常に自分でチェックする姿勢を持ち、よりよい人間関係を築くよう努力しなければと思いました。

発声練習として、あめんぼ 赤いな・・・と「北原白秋の50音」という詩を全員で復唱しました。懐かしく歌われる方も有り、詩のハートをどのように伝えるか、参加者一同真剣そのものでした。

特別養護老人ホーム 「愛知たいようの杜」 を訪ねて (宮川 和男)

9月10日(金) 標題の老人ホームを見学することが出来ました。長久手町にあるこの施設は、猪高緑地に続く丘陵地の森のなかにある。「たいようの杜」といわれるだけあって、周囲は深い樹木に覆われて、ここが都会の近くだということを一瞬忘れてしまいそうであった。

施設に近づくと数人の子供達の声が出た。辺りを見回すと少し上の方で、何人かの幼児たちが歩いている姿が木陰にチラチラと見えた。間もなく我々の行く手に「たいようの杜幼稚園」が現れた。毎日この森の中で遊ぶ幼稚園児の元気な姿が目についたのである。

我々が通された集会室からは、木々の葉が見えるだけで、若干暗い印象を受けるが、反面気分が非常に落ち着いてくるのが感じられた。そんな管理棟に続いて、杜人(もりびと)さん(ここでは居住者のことをこう呼んでいる)たちの居室は大きな中庭を囲んで全体が明るくなるように工夫されていた。

集会室で事務局の方から施設の沿革や、介護保険が施行されると、特に、老人ホームの運営もまた難しくなること等いろいろな説明を受けた。その後、施設を見せていただいた。食堂や喫茶室・遊戯場のほか、廊下のあちらこちらにテレビを備えた談話コーナーがあり、杜人さんたちからも「こんにちは」と挨拶をうけた。全体として明るさとゆとりが感じられた。

### 研修部会スケジュール

#### 見学会

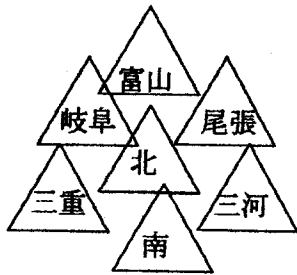
|       |  |
|-------|--|
| 場 所   | 愛知国際病院 ホスピス (日進市米野木町南山 987-31 Tel. 05617-3-7721) |
| 日 時   | 11月5日(金) AM 10:00~12:00                          |
| 集合場所  | 名鉄黒笹駅 (地下鉄鶴舞線豊田乗入) AM 9:40 (時間厳守) 徒歩 15分         |
| 会 費   | 200円   |
| 募集人数  | 12名 (申込順) 今回は一般市民を対象とした研修にSLAとして参加               |
| 申 込 先 | 研修部 紅林 綾子 TEL&FAX 052-917-7722                   |

#### パソコン教室からの報告・お知らせ

9月4日より10回講座にて、毎週土曜日に、北区役所内名古屋社会福祉協議会(ボランティアセンター)で開催されております。今回は3回目で、既に約20名が卒業されています。現在は人数3名のマンツーマンで欠席もままならず、涼しくなっているのに、汗をかきかき苦勞しています。当教室も今回限りで終了します。11月は年賀状作り、3月にインターネット・ホームページの作成を計画していますので、皆様の挑戦をお待ちしております。

#### 年賀状の作成

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 日 時  | 11月20日 AM 10:00~16:00       |
| 内 容  | パソコンによる年賀状の作成「筆まめ」ソフト使用     |
| 人 数  | パソコン3台使用 6名 申込締切 11月15日     |
| 場 所  | 名古屋市中区正木1丁目2-8 (電話相談室)      |
| 参加資格 | 多少日本語入力の出来る方                |
| 連絡先  | 田中 芳雄 (Tel&Fax0586-62-8178) |



## 地域部会だより

☆地域部会拡大幹事会報告 (出席者 田中、尾関、斎藤、外山、高田、水野)

・地域部会運営の目的について (8/27 伏見ライフプラザ 12F)

- ① 各地域独自の活動をする。
  - ② 地域性を生かし親睦を図る。
- ・幹事会との連携
- ① 各地域の活動及び計画は出来るだけSLA広報を利用する。
  - ② 活動計画及び実施については報告書を提出、SLAに原稿提出。
  - ③ 協会全会員が参加できるものは幹事会に提案、協議のうえ費用の一部を協会負担も検討する。

これらのことを確認し各地域の行事計画等を話し合い、行事の出席に際しては、あまり無理をしないよう長く続けることなど、地域ならではの特色を生かすべく色々話し合われた。(尾関 恵子)

## 名古屋北部会

### 実施報告と予定

- 第2回 6月25日(金) 施設見学の実施 なごやかハウス福原 (出席者 10名)
- 第3回 8月8日(日) 守山区社会福祉協議会会議室 (出席者 10名)  
温かいネットワーク作りを目指しての実施について打ち合わせ会
- 第4回 9月25日(土) AM10:00~12:00 守山区社会福祉協議会会議室定例会を開催  
テーマ 温かいネットワーク作りを目指して (出席者 10名)
- 第5回 10月25日(月) 市総合福祉会館 定例会を開催予定
- 第6回 11月13日(土) 財団法人名古屋都市センター 定例会を開催予定

### 第4回生き生き教室講演会

開催日時 **11月28日(日)** PM2:00~4:00

会場 ワーピア鶴舞

テーマ 長寿社会の中の言葉によるコミュニケーション

講師 森 孝子氏

参加予定人員 **100~120名**

連絡先 外山 晴美 TEL 052-711-0777  
会員、一般を問わず多数の方の参加をお待ちしています。

## 岐阜部会

### 9月24日(金) 施設見学会

訪問先 ケアハウスさくら苑 ロイヤルコート寺田

時間 AM10:30~PM2:30

集合場所 AM10:30 JR岐阜駅改札口集合

連絡先 水野 醇子 TEL 058-387-1932

他地域部会の方もどうぞ

介護保険がスタートします我々アドバイザーとしては一つでも多くの施設を見て、サービスの内容、質の問題、環境等をはだで勉強する。

活動報告と予定

7月1日 11年度尾張部会総会 (出席者 16名)

10年度の活動・会計報告

11年度活動テーマ もう一度足元を見直し心にゆとりを持った活動をしよう  
(仲間の親睦交流を主に)

**尾張部会**

内容 ①一人では行けないような所の見学→裁判所ウオッチング  
②尾北地域の史跡散策と仏門のこころ説法を聞く  
③福祉施設を見学

《 法廷の見学と裁判の傍聴・能舞台見学 》

日時 10月5日 (火) AM9:30~PM2:30

集合場所 名古屋高等・地方・簡易裁判所合同庁舎玄関ホール入口

(地下鉄名城線市役所下車5番出口、西に直進6分)

内容 ① 「法の日」の週間にあわせて法廷の見学・傍聴

② 名古屋能楽堂にて能舞台を見学

昼食は能楽堂内でとります(メニュー各自) ①→②移動は徒歩数分

参加連絡先 高田 昌子 TEL 0587-32-1930

FAX 0587-32-1952

他地域部会の方もどうぞ

・・感想・・

**「なごやかハウス」を見学して**

(紅林 綾子)

降りしきる雨の中、北部会会員 10 名が参加した。玄関先では車椅子の方々がチラホラ見うけられ若い職員がキビキビと、気持ちよく働いて居られる様子にさわやかな雰囲気が伝わってくる。

まず施設長の平岩氏のわかりやすい説明を受けた後、施設内を見学させて頂いた。

この「なごやか福祉施設協会」は、名古屋市と名古屋福祉協議会の出資によるもので「なごやかハウス〇〇」。この〇〇の中に地名が入り、このシリーズは現在 9ヶ所が活動しているが、今後 30ヶ所の開設を予定しているそうである。職員の平均年齢は 30才、寮母、寮夫では 25才とか。若くなければ出来ない大変な仕事であるし、力の使い方にもコツがあるそうだ。開所して約 3年フレッシュな労働力である。ホームの中はあかるくて、プライバシーも大切にされている様子が見受けられた。

この特養の待機者は 235名、名古屋市では 2,600名にも及ぶと言う、入居者希望の家族にとっては気の長いことである。

特養ホームは、官民あわせて、どの位あるのだろうか。きっと施設間の格差は大きいだろう、職員の数、勤続年数、入居者の入浴回数や食事の単価、入居者一人当たりの寮母 寮夫の数や、オムツの交換回数 etc. 利用者が本当に必要とする情報は公開されているのだろうか、色々なことを考えさせられた。



総務委員 会計より

平成11年度の年会費未納の方は至急下記へお振り込み願います

東海銀行笹島支店 口座番号 普通:1411404

年会費 ¥3000円

振込先名 中部シニアライフアドバイザー 協会

